



私たち
は、果実栽培をデータで支援します



かるほく未来創造Lab

凍霜害アラートシステム・コンテスト

APPLICATION GUIDELINE 応募要項

参加資格 山形県の大学生・高校生

募集内容 上山市で運用している果樹栽培支援システム(かるほく)の凍霜害アラート開発に関するコンテストです。当日の気象データから、翌朝の最低温度を予測する精度/実用性を競います。

参加説明会

2021年7月7日(木)18時～ オンライン開催

7月5日までに右のQRコードから説明会への参加申込みをしてください。
ZoomIDを送付します。

[https://www.yamagata-univ-
derp.org/explanation-tousouga21](https://www.yamagata-univ-derp.org/explanation-tousouga21)



審査方法

提出いただいたシステムを用いて、2020,21年の気象データの予測精度/実用性/アイデアの観点で審査します。審査の上、実用に耐えうると判断したシステムは、上山市の霜害対策のアラートシステムに実装させていただきます。

提出締切 2021年11月23日

提出方法:各チームに応じて相談して決めます

副賞

最優秀賞(1本)図書券(5万円)/上山市の果物
優秀賞(複数本)図書券(1万円)/上山市の果物

エントリー方法

右のQRコードからエントリーしてください。**締切:8月7日**

[https://www.yamagata-univ-
derp.org/entry-tousouga21](https://www.yamagata-univ-derp.org/entry-tousouga21)



連絡先

山形大学データサイエンス教育研究推進センター
Email: derp-info@jim.kj.yamagata-u.ac.jp

ご興味のあるかたは、まずは気軽に参加説明会参加ください！

実施方法の詳細

コンテスト開始時に、実際の園地で起きる凍霜害の状況やその対策方法をレクチャーし、かるほくが求めるシステムの仕様を説明します。参加者には上山市の一昨年までの気象データをお貸しますので、各チームのアイデアでアラートシステムを開発していただきます。適時、開発相談会を設け、システム開発者、生産者などから助言を得ながら、予測システムの精度と実用性を上げていきます。システム開発の手がかりはゼロではなく、例えば、前日の夕刻の気象データから翌朝の最低気温を予測する簡易式等が報告されています。(Asakura et al. (2011). J. Agric. Meteorol. 67(3) :99–105.)しかし、その日の天候により予測精度が変わったり、上山市の園地の気象に合わせてより精度を高めたシステムが必要です。

協賛:(株)フェイバーエンジニアリング、(株)シンフォディアフィル

共催:データサイエンス教育研究推進センター、かみのやまブランド推進協議会、かるほく未来創造Lab